

# 相馬事件

明治の世をゆるがした精神病問題  
その実相と影響

岡田靖雄 著

2022年  
7月発売!

定価 4,500円+税  
(税込4,950円)

体裁:A5判・上製 368ページ  
ISBN978-4-86617-189-0

電子書籍版も同時刊行!

詳細は弊社HPをご覧ください

中村藩（現・福島県）最後の藩主・相馬誠胤の奇矯なふるまいめぐり、

家令らが座敷監禁そして入院を処断したことに

旧藩士・錦織剛清が、家督相続を狙った不当監禁として告訴し、

以後患者本人の死後までも十二年にわたり争われた「相馬事件」。

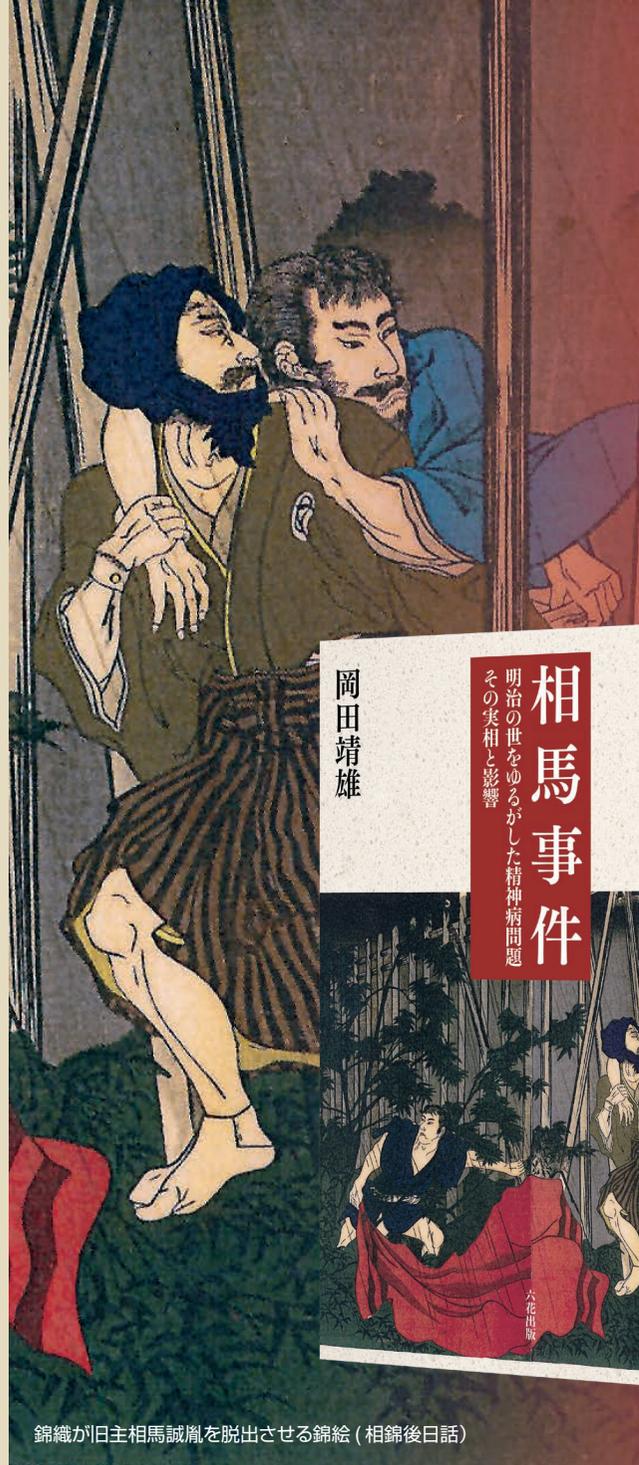
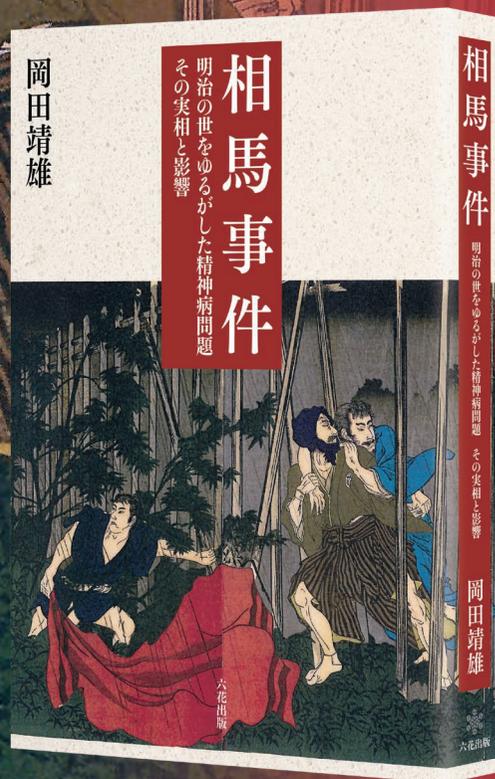
告発のみならず入院先から旧藩主を連れ去り、本人死後は毒殺であると告発するなどの行動により

「忠臣」とも言われた錦織、近代的な精神医療のとは口で診断や患者の処遇に迷う医療者、

法整備を迫られ、事件後の一九〇〇年、精神病者監護法を制定する明治政府。

近代日本の精神科医療の画期となった相馬事件を

膨大な資料を基に再構築し、考察する。



錦織が旧主相馬誠胤を脱出させる錦絵（相錦後日話）

「東京府癲狂院長、相馬子爵毒殺容疑で逮捕

忠臣錦織、主君は替え玉見合いで発狂に追い込まれたと

家令ら財産横領か

万朝報は錦織を全面支持

相馬家、錦織の争いで自由党領袖星亨・大井憲太郎両  
弁護士の対決」

週刊誌見出しふうにかげば、相馬事件とはこんなもん  
だったろう。万天下の注目をあびた点では、明治の世で日  
清戦争、日露戦争につぐ三番目の地位の大事件（スキャン

ダル）であった……。

相馬事件にともなう「魔」臭はどこからきているか、ど  
ういう時代だったか、精神病者監護法とどうつながってい  
るか、こういう疑問をもったまま、その後ずっと資料集め  
をしてきた……。

この本は、わたしの足掛け六〇年の勉強のまとめである。  
これが日本精神科医療史研究を一步でもすすめることにな  
れば、うれしい。

——「はじめに」より

はじめに

## 第一章 平将門と相馬氏

### 一 平将門

相馬氏の祖／将門の出自／将門、新皇と名のるまで／将門敗死  
将門伝説の発展／平良門と滝夜叉姫／『相馬平氏二代譚』  
将門の首塚と神田明神

### 二 平将門から相馬誠胤まで

将門の「血」は？／千葉氏の流れ／相馬氏の成立とその後  
奥州相馬氏／中村藩相馬氏／二宮尊徳の生涯／相馬充胤の事蹟  
富田高慶／相馬誠胤のこと／相馬家の家政と小野組  
志賀直道／家令としての志賀／足尾銅山／志賀仕法の評価

## 第四章 相馬事件の影響

### 一 当時の出版物ほか

「相馬事件」もの(その一)／「相馬事件」もの(その二)  
相馬事件の錦絵など／当時の論説ほか

### 二 精神病患者監護法への影響

精神病患者監護法まで／精神病患者監護法の制定／

### 三 相馬事件に関するその後の記述

学術的なもの／その他のもの

相馬事件年表／あとがき／索引

## 第二章 主君毒殺・財産横領の大陰謀

### 一 錦織剛清の活躍

旗たかく／替え玉見合い／主君監禁／財産横領／診断書  
私立癲狂院入院／東京府癲狂院入院

### 二 錦織とぶ、そして後藤新平登場

後藤新平の出自／愛知県病院／錦織との接触／衛生局出仕  
後藤新平と錦織剛清／警視庁布達／癲狂院から誠胤連れ出し  
『相馬家紛擾之顛末』／家宅侵入事件／神倅による診断  
家宅侵入事件控訴審／錦織禅院にいらり、そして／相馬子爵の死  
『神も仏もなき闇の世の中』／誠胤公毒殺？／謀殺の告発  
『万朝報』ほか／黒石涙香／『自由新聞』

## 第三章 相馬誠胤の病いと時代

### 一 民権の時代

### 二 錦織剛清という人

錦織剛清の出自／相馬家への接近

### 三 誠胤の病い

遺伝歴／既往歴など／病初期のこと／日光での療養／病いの進行  
監禁／錦織の来訪／鎖鎖の手続き／癲癲病院入院

### 四 東京府癲狂院への入院

東京府癲狂院／神倅／中井常次郎／当時の治療

### 五 東京府癲狂院再入院、そして

誠胤の再入院／錦織、誠胤を奪取／誠胤奪取の裏面 恵沢正利談話  
熱海での誠胤－恵沢談話続き／父充胤の死、神鑑定

### 六 錦織の訴訟戦術、そして誠胤の死

訴訟につづく訴訟／まさに訴訟の山／誠胤の病状／誠胤の死  
遺体の臨検

### 七 墳墓発掘、そして逆転

墳墓発掘および毒物有無の鑑定／免訴の予審決定  
誣告事件予審終結と、山口判事・後藤新平の関与  
山口、錦織の密会／誣告事件判例／大岡弁護士弁論／判決  
周辺の訴訟／関係者のその後

### 八 相馬誠胤の精神疾患

相馬誠胤の病歴／病症についての考察一、二、三／錦織剛清の人柄



歌川国芳「相馬の古内裏」平将門の娘・滝夜叉が父の仇を討とうと妖術を使っている

### 著者紹介

#### 岡田靖雄（おかだ・やすお）

一九三一年生まれ  
一九五六年、医師免許取得。東京都立松沢病院などをへて、現在、青柳舎（精神科  
医療史資料室）主人  
◎主要編著書

『私設松沢病院史』岩崎学術出版社、一九八一年  
『吹き来る風に——精神科の臨床・社会・歴史—中山書店、二〇一一年  
『もっひとつ』の戦場——戦争のなかの精神障害者／市民 六花出版、二〇一九年  
『精神障害者問題資料集成』（戦前編および戦後編）六花出版、二〇一〇～二〇一八年

\*小社は注文制です。お近くの書店にご注文ください。  
お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。 電話 03(3293)8787

注文数 冊

発行 六花出版

電子メール info@rikka-press.jp

発行 六花出版

岡田靖雄 著

## 相馬事件

明治の世をゆるがした精神病問題 その実相と影響

定価 四、九五〇円(税込)

ISBN978-4-86617-189-0

注文カード

帖合・書店名

〈八木書店経由〉

注文数

冊

お名前

電話番号

注文 年 月 日